

L-アスパラギナーゼ（商品名：ロイナーゼ注用）

【本剤の投与方法について】

- ・ 過敏反応（アレルギー）の有無を確認するため、投与に先立って皮内反応試験を行います。

【起こる可能性のある副作用】

◎過敏反応

- ・ 息苦しさ、皮膚の発赤、かゆみ、全身が腫れるなどの症状が現れることがあります。
- ・ 初めて治療するときに起こることが多いですが、2回目以降に起こる場合もあります。

◎骨髄抑制

- ・ 白血球/好中球数減少（感染症にかかりやすい、発熱）、血小板減少（鼻血、あざができる、出血しやすい）、貧血（めまい、息切れ、疲れやすい）が起こることがあります。

◎凝固異常

- ・ 鼻血、あざができる、出血しやすいなどの症状が現れることがあります。
- ・ 血液中に血の塊ができたり、血の塊が血管を塞ぐことがあります。
- ・ 脳出血、肺出血、脳梗塞、肺塞栓などにより、突然の頭痛、咳と一緒に血が出る、突然しゃべりにくくなる、突然の息切れなどの症状が現れることがあります。

◎肝機能障害

- ・ 肝臓に関連する血液検査の数値が異常値を示すことがあります。
- ・ 機能低下により、白目や皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、痒くなる、疲れやすくなるなどの症状が現れることがあります。

◎膵炎

- ・ 吐き気・嘔吐、激しい上腹部の痛み、お腹が張るなどの症状が現れることがあります。

◎糖尿病

- ・ のどの渇き、多飲、多尿（夜間覚醒を伴う）、食欲不振、体重減少、悪心・嘔吐などの症状が現れることがあります。

ここに挙げたものは主な副作用です。ここに挙げていないものも起こる可能性があります。ささいなことでも遠慮なく主治医・看護師・薬剤師に連絡をしてください。